

2021年版

会社の流儀

厳選100社

未来を見据える確かな戦略がここにある

Satoshi Enabe

江辺 聡 [編著]

注目企業のトップが
「ニューノーマル」を牽引する！

「サンデー毎日」「週刊朝日」「読売新聞」
「THE21」「AERA」に掲載された、
注目すべき企業の取り組みを
この1冊に結集！

(株)日本シニアリビング新聞社

東京紙業(株)

創業70周年を迎えた包装資材の専門商社



社長 中島 孝文
なかしま たかふみ
1975年生まれ。東京都出身。
2007年7月入社。2020年8
月社長就任。
趣味：ゴルフ、サイクリング

包装資材のトータルコーディネーターとして、上場企業を中心とする500社超の取引先の信頼を集める東京紙業株式会社。創業70周年の2020年8月24日から、45歳の中島孝文社長を新たなリーダーとする経営陣の若返りを断行した。「従業員のモチベーションをさらに高め、その家族や友人の皆様が安心して提供するためにも絶対に『100年企業』を実現します」

と話す中島社長は流通小売業からの転身組。20年以上に及ぶ営業経験だけでなく、新規店舗の立ち上げやマネージメント業務の経験も併せ持つ。創業家から26歳の若さで取締役役に抜擢されたのが崎山裕基経営管理部長。足掛け3年の工場勤務で製造現場を牽引してきた経験を生かし、「社員

一人ひとりがプライドを持ちながらお互いを尊重し合うことで、効率よく仕事が回る組織を目指します」と、経営陣と社員の橋渡し役を担う。

若き経営陣の中樞を担う二人に対し、放送業界の民放キー局の取締役から、同じ「ホウソウ（包装）」業界に転身した崎山純一会長も「若さを生かして新しい会社に変えて欲しい」と期待する。

創業当初は豆炭や練炭の袋を製造・販売していた同社だが、家庭用燃料の主役がガスや電気に代わり、クライアントの商材も多角化する中で梱包資材の専門商社に進化。千葉県佐倉市の自社工場では粉体の輸送・保管に用いる「クラフト紙袋」を製造し、オーダーメイドの特注品を小ロットから対応する製袋メーカーとして技術力を確立して

きた。ペットフードの大型紙袋はトップシェアを誇り、異物混入に細心の注意を払いながら品質管理を徹底。製造スタッフの匠の技で製品の安心安全な供給に努めるだけでなく、新技術の開発や、2018年に経済産業省から「経営力向上計画に係る固定資産税の特例措置」の認定を受けて工場設備を更新するなど設備投資にも積極的だ。

また、創業時から「自社で生産した製品は必ず直接ユーザー様にお届けする」をモットーに、全国各地のクライアントの工場を営業マンが直接訪問。現場で吸い上げた意見からクラフト紙袋を採用し、品質保持期限の延長という難題をクリアしたこともあったという。『梱包資材は全て東京紙業に任せる』と言って頂けることが最高の営業』という創業者の言葉を継承する営業マンたちが、梱包資材が商品や物流と一体であることをいち早く理解し、生産管理の一翼を担うことで商機を拡大する「ワンストップショップ」が強みなのだ。『この会社は誰のためにあるか』を考えさせて

います。対象となる株主・経営者・社員・お客様・社会の5つがどれも重要。今は『物流を止めてはいけない』という社会的使命を実感しています」と崎山会長が話すように、同社は現在、新型コロナウイルス感染症の緊急事態に備えて2週間分の在庫を確保。コロナ禍に大胆な経営陣の若返りを行った同社は100年企業に向かうため、新しい発想と若さを生かした行動力でピンチを乗り越え、大きなエネルギーを生み出す。梱包資材の困り事は同社のホームページから相談して欲しい。

会社データ

本社所在地 東京都千代田区神田錦町3-15-10
電話番号 03(3293)5131
設立年月 1950年7月
資本金/社員数 2000万円/51名
売上高 25億5553万円
事業内容 包装製品及び包装用資材等の製造販売
ホームページ <http://www.t-shigyō.com>